追手門学院大手前中学校

令和５年度　家庭科

教科	技術家庭科	科目	家庭科	単位数	0.5	年次/コース	中学３年生／特進
使用教科書	新編　新しい技術・家庭（家庭分野）自立と共生を目指して（東京書籍）						
副教材など	中学技術/家庭学習ノート(自立と共生を目指して)　家庭分野（東京書籍）						

１．学習の到達目標

●科目について

家庭生活・保育分野
・家庭や家族の基本的な機能について考え、その大切さについて改めて考える機会とし、自分の成長を振り、幼児の心身の発達の特徴と生活を理解する単元です。

消費生活
・社会経済のしくみを知り、消費者としての自覚をもち、さまざまな支払い方法の特徴や課題について考え、消費者としての権利と責任を考える単元です。

●コンピテンシーについて
・自分の幼児期を振り返ることができる　〔学びに向かう力〕
・幼児の心身の発達の特徴と生活を理解する〔学びに向かう力･創造力〕
・幼児にとっての遊びの意義について理解し、課題を発見できる〔知識・コミュニケーション力・想像力〕
・社会経済における消費と生産の機能を理解する　［知識の習得力・思考力・想像力］
・消費者としての自立の必要性に気づく　［知識の活用力・学びに向かう力］
・さまざまな生活情報ツールの利用により、計画的な消費行動ができる〔知識の活用力･思考力・表現力〕
・色々な支払方法を知る　消費者トラブルとその解決策を考える〔知識・技術の活用力･判断力・創造力〕
・実際の消費生活と結び付け消費者の権利や責任について理解する（知識の活用力・コミュニケーション力〕

2.　学習方法について

●授業中において
・授業では、解説資料や動画を使って、学習ノートに取り組みます。
・授業の最後にノートを提出します。
・授業ごとのリフレクションはClassroomに送信します。その授業で学習したことの理解ができているかを問う内容になっています。リフレクションすることで学習内容を自分の中で整理し、次の授業につなげていきましょう。
●家庭学習において
・学習した知識と技術を活用し、実際の家庭生活の中で実践することはとても大切です。生活の課題を主体的にとらえ、実践を通してその解決を目指すことにより、自分の生活を工夫し、創造する態度を育成できると考えています。
・保育生活の単元では、家族にインタビューをして幼い頃の自分を知り、スライドにまとめることを課題にしています。また、消費生活においては、身近な消費活動についてのNEWSなどに関心を持ち、意識を高めるようにしましょう。

３．学習評価（評価規準と評価方法）

	①：知識・技能	②：思考・判断・表現	③：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・家庭や家族の基本的な機能について知る。 ・自分の成長を振り返る。 ・幼児の心身の発達の特徴と生活を理解する ・幼児の成長と遊びについて知る ・社会経済の仕組みを理解する ・消費者としての自立について知る。 ・さまざまな支払方法があることを知る。 ・消費生活に関わる社会の仕組みを知る。 ・消費者トラブルの実態を知る。 ・消費生活に関わるさまざまな表示やマークなどを知る。	・家庭や家族の大切さについて考える。 ・幼児期の生活環境が与える影響について考える ・幼児期の遊びにより発達する能力について考える ・幼児との接し方について考える ・望ましい消費行動が実行できるよう意識を深める。 ・さまざまな支払方法の問題点や利点を理解し、計画的な金銭管理について考えることができる。 ・消費者被害について中学生にかかわりの深いトラブルについて調べ共有する。 ・商品の選択について問題を見出し課題を設定し解決策を構想する。	・幼児の心身の発達に応じて周囲の大人が適切に関る必要があることに気づく。 ・幼児の観察について工夫し、想像し実践しようとしている。 ・望ましい消費者としての自立を目指そうとしている。 ・消費者教育の必要性を理解し、望ましい消費者であるためには適した情報の収集や判断を将来永続的にしようとしている。 ・視聴覚教材を通して、望ましい消費行動をグループで話し合う。 ・課題の解決に主体的に取り組み、振り返って生活を工夫し創造し実践しようとしている。
評価方法	定期考査（学期末考査） 授業プリント 読み聞かせ評価表 リフレクションシート	定期考査（学期末考査） 授業プリント リフレクションシート	子育てインタビュー（スライド作成） 授業プリント リフレクションシート
上に示す観点・評価方法に基づいて、各観点で評価し、学期末に当該学期の観点別学習状況の評価(A、B、C の 3 段階)及び評定(1～5 の 5 段階)にまとめます。また、学年末に年度を通しての観点別学習状況の評価(A、B、C の 3 段階)及び評定(1～5 の 5 段階)にまとめます。			

４．学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元（題材）の評価規準	評価方法
			①	②	③		
2学期	家族・家庭と地域	・家庭や家族の基本的な機能について考える ・家庭や家族の大切さについて考える。 ・自分の成	○	○	○ ○	・家族や家庭生活との関わりについて理解している。 ・家族・家庭の基本的な機能について理解している。 ・家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。 ・自分や家族がになう家族・家庭の基本的な機能を考え，生活を工夫している。	学習ノート

2学期		長を振り返る。 ・幼児期についてのグループワーク ・幼児と遊び ・子育てインタビュー	○	○	○ ○	・幼児の心身の発達の特徴と生活を理解し、自らの成長や振り返りをふまえて重要性や意義を捉えられる ・幼児期における遊びの意義を理解でき、発達に合わせた遊びがあることを知り、それにより育つ能力を知る ・子育てインタビューを通して、子育てが自分に大きく関わることととらえられ、子育てへの主体的認識を持てている	学習ノート 伝承遊びレポート インタビューシート・スライド作成
	私たちの消費生活	・自分や家族の消費生活を振り返り，適切な消費行動について考える。 ・契約の意味について理解する。 ・具体的な買い物の場面を取り上げ購入方法や支払い方法について考える。 ・消費者に関わるトラブルなどの実際の例を取り上げその解決方法について考える。	○ ○ ○	○	○ ○ ○	・自分の消費に使える金銭には限りがあることや優先順位を考えた計画的な支出が必要であることに気付かせる。 ・物や金銭の大切さ，計画的な使い方，買い物の仕組み購入方法や支払い方法について理解させる ・バランスの良い金銭管理のために，自分や家族の中での優先順位について考えさせる。 ・三者間契約の仕組みや特徴について理解させる。 ・中学生に関わりの深いトラブル事例を取り上げて，調べさせるなど，生徒が主体的に学習できるように工夫する。 ・消費生活センターやクーリング・オフ制度などについて理解させる。	学習ノート グループワーク クーリングオフシート